

2026年05月 イーアイデム会員対象アンケート結果

TOPICS

パート・アルバイトの仕事探しで譲れない条件は
「勤務地・通いやすさ」が最多の62.0%

株式会社アイデム
メディアソリューション事業本部 データリサーチチーム

調査名

- ▶【イーアイデム会員限定】お仕事探しに関するアンケート

調査目的

- ▶現在の求職者の状況を把握し、今後のサービス向上・商品開発につなげる

調査対象

- ▶総合求人サイト「イーアイデム」の会員で、2026/05/01～2026/05/31の期間にイーアイデムから何らかの求人に応募した人

調査期間

- ▶2026/05/02～2026/06/05（35日間）

調査方法

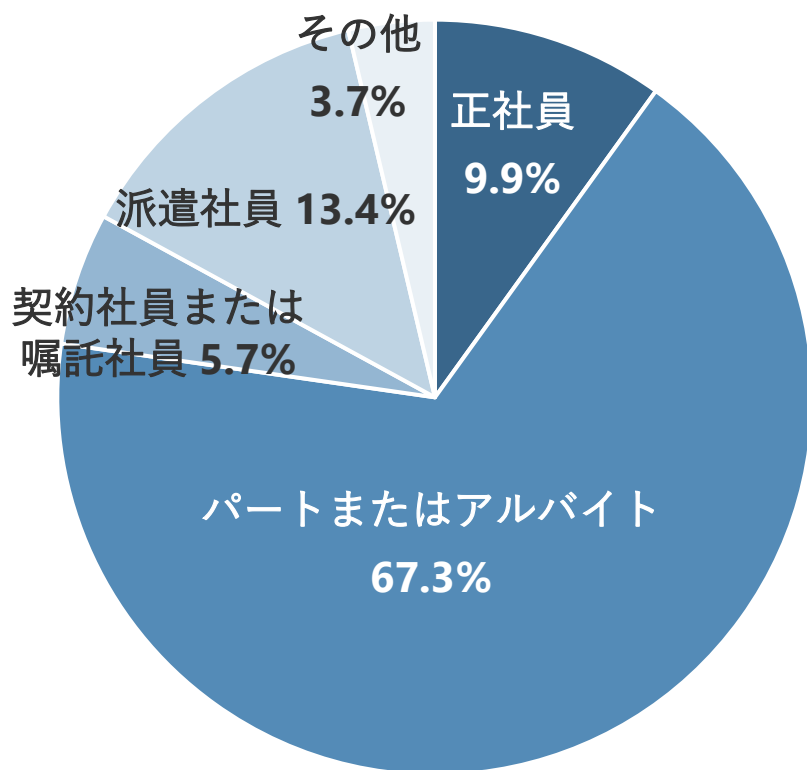
- ▶インターネットリサーチ

有効回答数

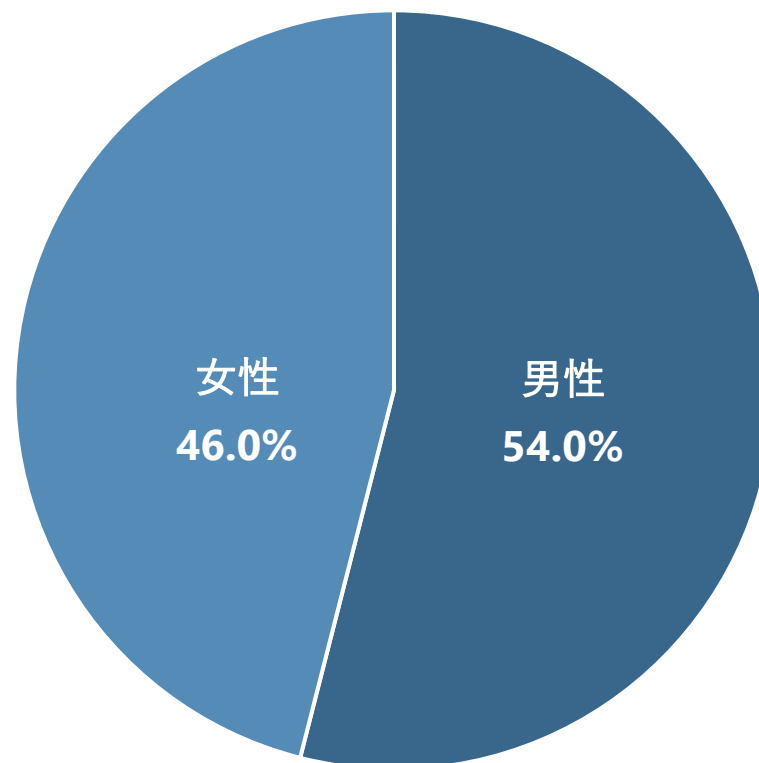
- ▶352件

※調査結果は四捨五入のために合計が100%にならない場合があります

希望する雇用形態



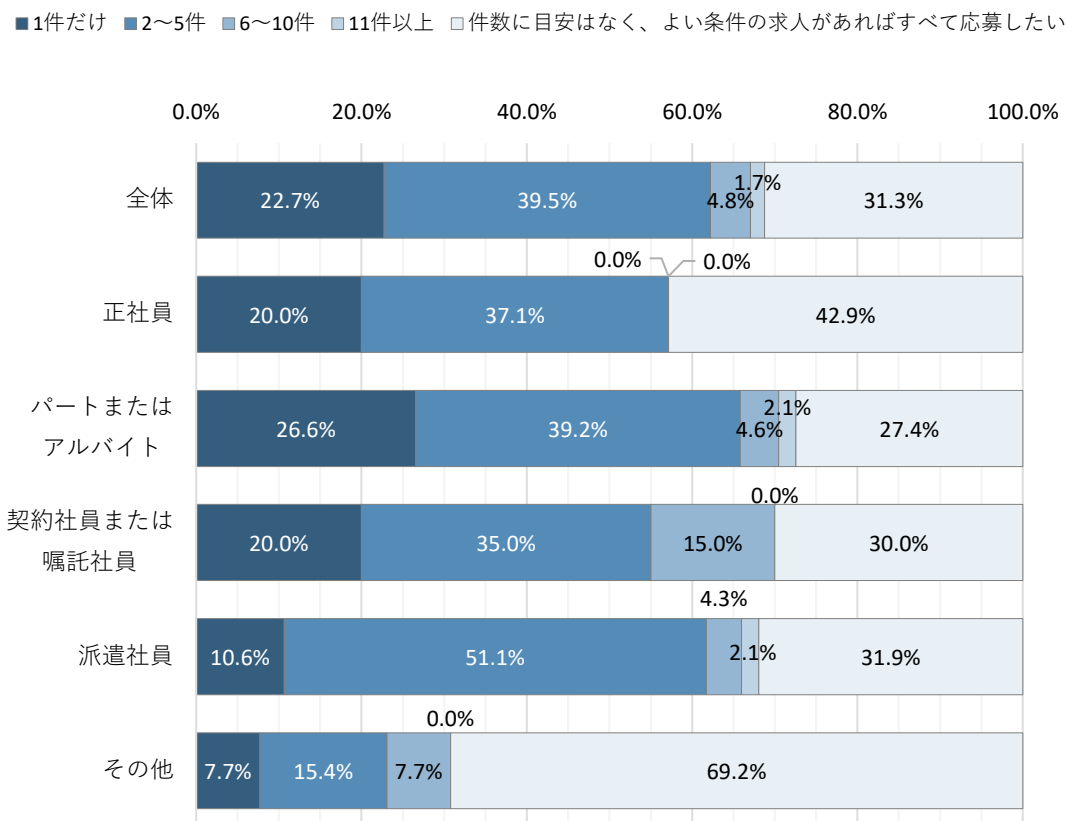
性別



イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、今回の求職活動期間の中で、求人に応募する件数の目安があるかどうかをきいた。全体では、「2～5件」が最も多く39.5%、次いで「件数に目安はなく、よい条件があればすべて応募したい」が31.3%、「1件だけ」が22.7%、「6～10件」が4.8%、「11件以上」が1.7%となった。「1件だけ」以外を選んだ割合は全体の8割弱となった。

希望雇用形態別にみると、「正社員」では「パートまたはアルバイト」よりも「件数に目安はなく、よい条件の求人があればすべて応募したい」の割合が高かった（42.9%）。応募件数の目安を設けていないのは、ひとつひとつの求人を吟味しながら仕事探し・応募を進めているからとも考えられる。

今回の求職活動期間の中で、およそ何件ほど応募しようと思いますか。



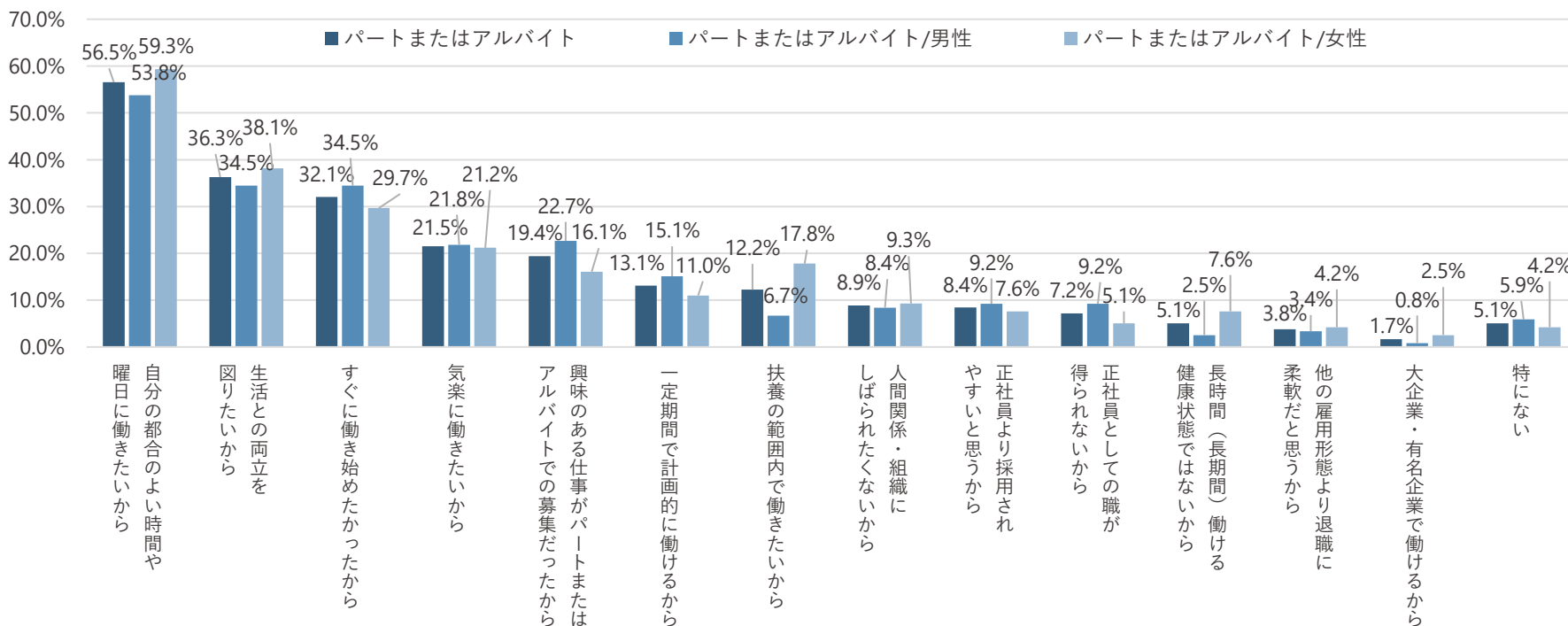
パート・アルバイトを希望する理由

イーアイデムに掲載された求人に応募した、パートまたはアルバイトを希望する人に、なぜその雇用形態を希望するのかをきいた（複数回答）。最も多かったのは「自分の都合のよい時間や曜日に働きたいから」で56.5%、次いで「生活との両立を図りたいから」が36.3%、「すぐに働き始めたかったから」が32.1%となった。柔軟な働き方や即時性を重視する傾向が表れている。

性別との関係を見ると、「男性」のほうが「女性」よりも「興味のある仕事がパートまたはアルバイトでの募集だったから」が6.6pt高かった。男性のほうが、雇用形態よりも仕事内容への関心の高さが応募理由につながる傾向があるようだ。

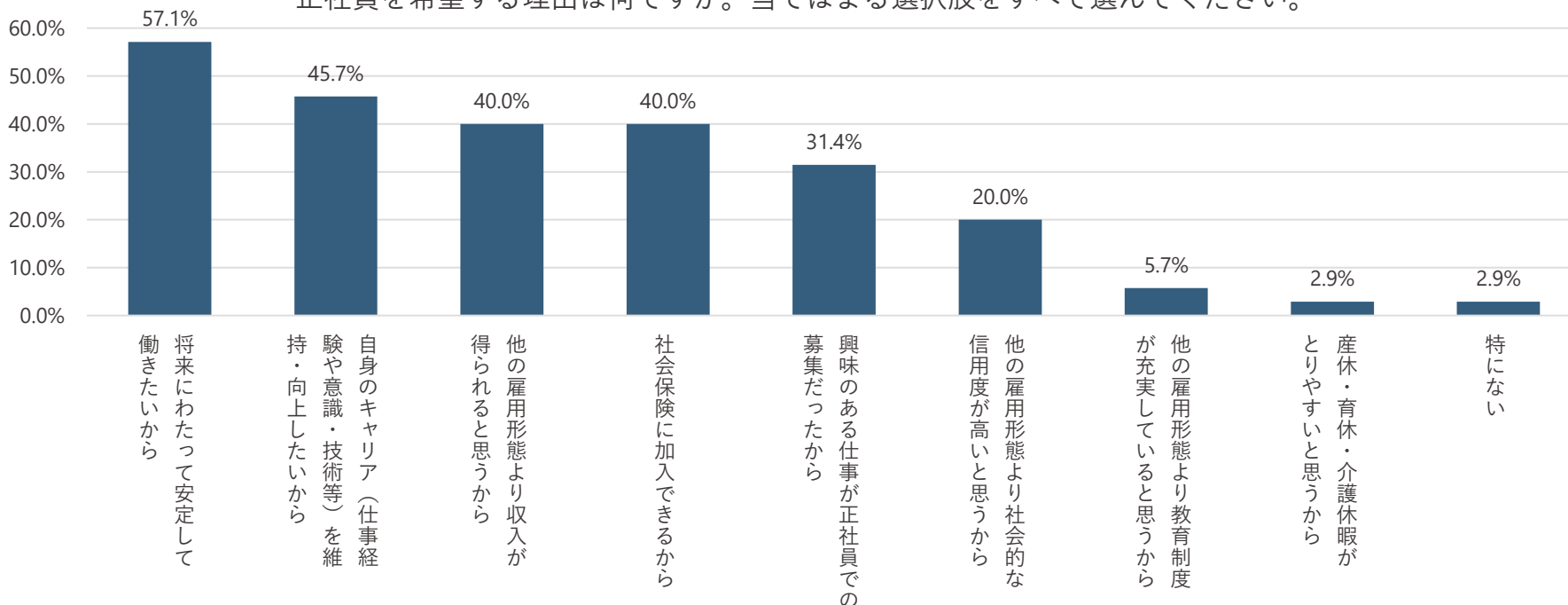
一方、「女性」のほうが「男性」よりも「扶養の範囲内で働きたいから」が11.1pt、「自分の都合のよい時間や曜日に働きたいから」が5.5pt、「長時間（長期間）働ける健康状態ではないから」が5.1pt高くなった。収入制限を意識した働き方や、家庭・私生活とのバランスを前提とした就業意識がより反映されている。

パートまたはアルバイトを希望する理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



イーアイデムに掲載された求人に応募した、正社員雇用を希望する人に、なぜ正社員を希望するのかをきいた（複数回答）。最も多かったのは「将来にわたって安定して働きたいから」が57.1%、次いで「自身のキャリア（仕事経験や意識・技術等）を維持・向上したいから」が45.7%、「他の雇用形態より収入が得られると思うから」と「社会保険に加入できるから」が40.0ptとなっている。長期的な雇用の安定性に加えて、自己成長への意識が正社員志向の主な背景となっていることが明らかとなった。「特にない」は2.9%と非常に低く、何らかの理由をもって正社員を希望する人がほとんどである。

正社員を希望する理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



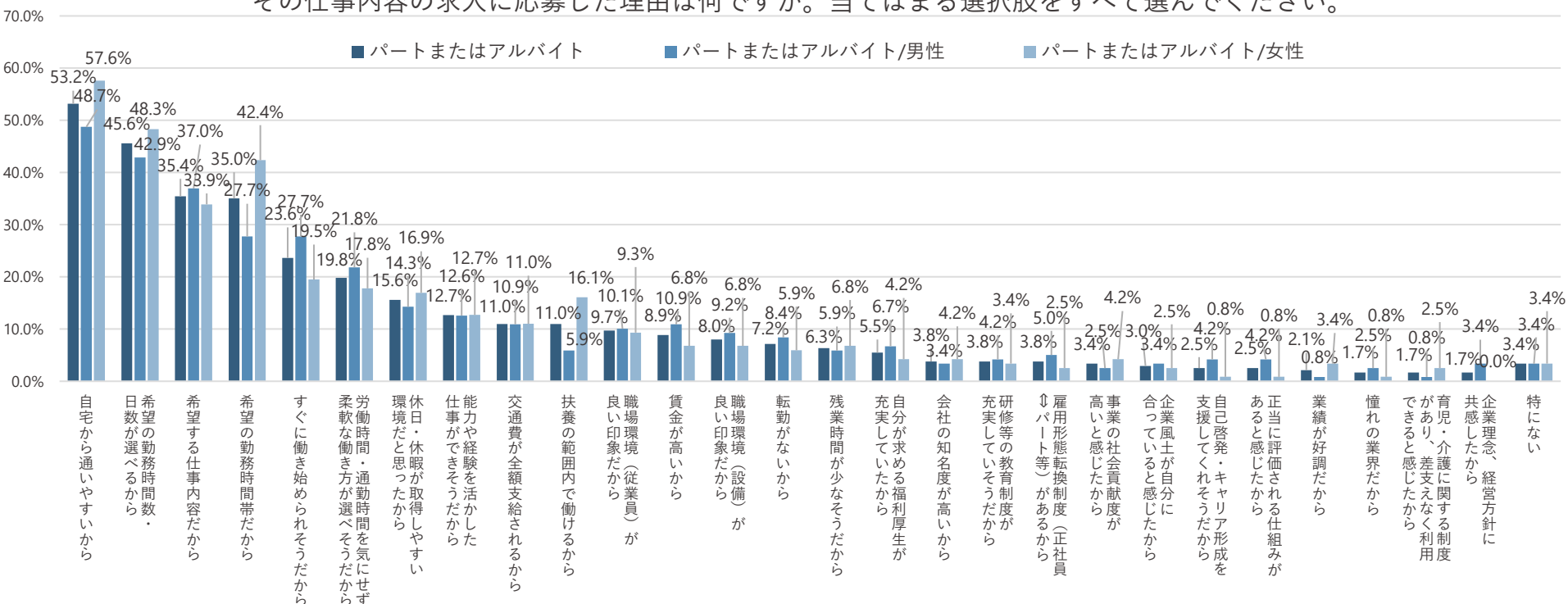
求人に応募した理由（パート・アルバイト希望の場合）

イーアイデムに掲載された求人に応募した、パートまたはアルバイト雇用を希望する人に、自身が応募した求人を選んだ理由をきいた（複数回答）。最も多かったのは「自宅から通いやすいから」で53.2%、次いで「希望の勤務時間数・日数が選べるから」が45.6%、「希望する仕事内容だから」が35.4%となった。応募先の選択においては、通勤利便性に加えて、働く時間や日数に関する柔軟性が重要な判断基準となっているようだ。

性別との関係を見ると、「男性」のほうが「女性」よりも「すぐに働き始められそうだから」が8.2pt高くなった。応募から就業開始までが短期間で済む点をメリットとして捉えている割合が、女性と比較すると高い傾向がある。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「希望の勤務時間帯だから」が14.7pt、「扶養の範囲内で働けるから」が10.2pt、「自宅から通いやすいから」が8.9pt高くなった。生活との両立や収入制約への配慮、通勤面での条件を重視するようだ。

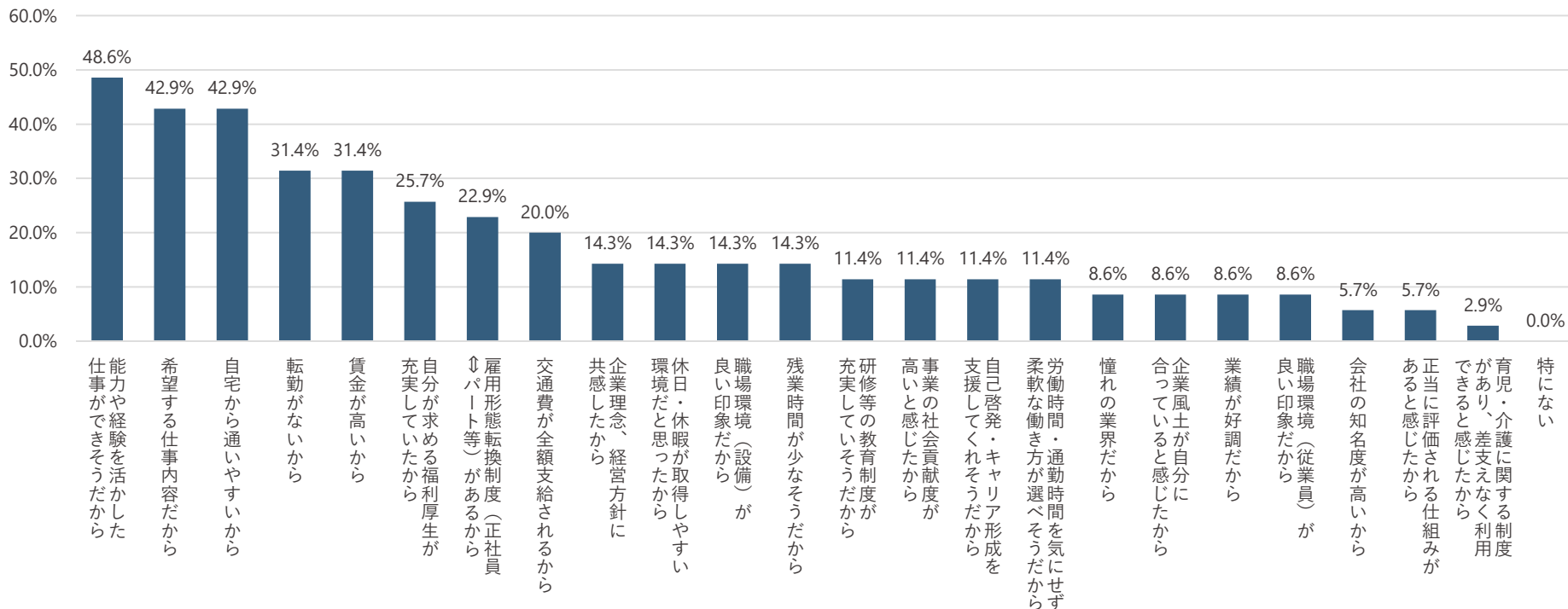
その仕事内容の求人に応募した理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



求人に応募した理由（正社員希望の場合）

イーアイデムに掲載された求人に応募した、正社員雇用を希望する人に、自身が応募した求人を選んだ理由をきいた（複数回答）。最も多かったのは「能力や経験を活かした仕事ができそうだから」が48.6%、「希望する仕事内容だから」と「自宅から通いやすいから」が42.9%となった。実際に従事する業務内容や自身のキャリアとの接続性を強く意識しながら応募先を選択していることがうかがえる。「転勤がないから」や「賃金が高いから」も一定の支持があり（31.4%）、生活設計のしやすさも判断材料として上位のようだ。

その仕事内容の求人に応募した理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



(パートまたはアルバイト希望者) 仕事探しの条件で譲れない項目・妥協できる項目

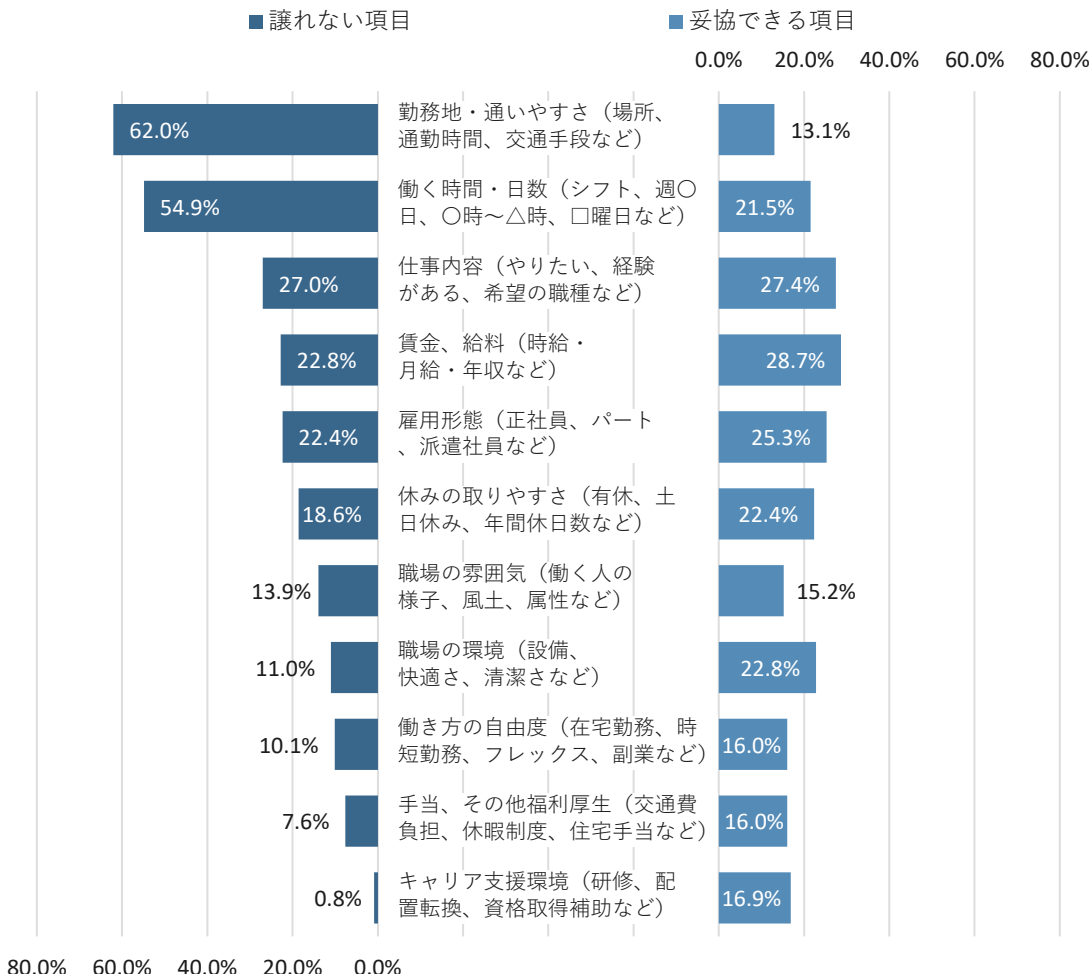
イーアイデムに掲載された求人に応募した、パートまたはアルバイト雇用を希望する人に、仕事探しの条件について、譲れない項目と妥協できる項目をきいた（それぞれ最大3つ）。

「譲れない項目」で最も多かったのは「勤務地・通いやすさ」の62.0%、次いで「働く時間・日数」が54.9%となり、この2項目が他を大きく上回った。P7「求人に応募した理由」でも、1位は「自宅から通いやすいから」、2位は「希望の勤務時間数・日数が選べるから」となっており、これらがパート・アルバイトで働く上での絶対条件であるともいえる。

「妥協できる項目」で最も多かったのは「賃金、給料」で28.7%、次いで「仕事内容」が27.4%、「雇用形態」が25.3%となった。

P7「求人に応募した理由」の上位には「希望する仕事内容だから」があるが、譲れない項目・妥協できる項目いずれも約3割とほぼ同水準だった。仕事内容は応募への加点要素にはなっているが、希望の仕事内容ではなくとも他の条件が適っていれば応募につながる可能性がある。

仕事探しの条件について、譲れない項目/妥協できる項目を教えてください（パートまたはアルバイト希望、各最大3つ）



(正社員希望者) 仕事探しの条件で譲れない項目・妥協できる項目

イーアイデムに掲載された求人に応募した、正社員雇用を希望する人に、仕事探しの条件について、譲れない項目と妥協できる項目をきいた（それぞれ最大3つ）。

「譲れない項目」で最も多かったのは「勤務地・通いやすさ」で48.6%、次いで「賃金、給料」が37.1%、「職場の環境」が28.6%となった。「妥協できる項目」で多かったのは「賃金、給料」「雇用形態」「仕事内容」（いずれも34.3%）となった。

P10「求人に応募した理由」では仕事内容に関する項目は上位にあったが、譲れない項目の上位にはあがらず、妥協できる項目の上位に入っている。正社員希望者にとって仕事内容は「応募を後押しする魅力」のひとつではあるが、それは他の条件が整ったうえでのことなのかもしれない。

「賃金、給料」は「譲れない項目」「妥協できる項目」のいずれでも上位にあがってきた。これは求職者によって賃金に対する考えが異なっていることがうかがえる。必ずしも絶対条件ではないが、譲れない給与水準を設けている人と、給与は多少妥協できる人の両方がいるようだ。

仕事探しの条件について、譲れない項目/妥協できる項目を教えてください（正社員希望、各最大3つ）

